



めじかじ
通信

No.148

飲食経営、アパレル、ラジオDJ…。口にしていたら夢が叶っちゃった人

ラックブランオーナー 掛川 絢太さん (32歳)

リーマンをしていたが、2019年に転職が訪れた。掛川さんの夢を知っていた奥様が「あなたが生き生きできる道を選んだら」と背中を押してくれたのだ。

「悩んでも3日。4日目からは行動に移す」という掛川さん、早速、約8カ月後の2020年4月30日に何があっても開店すると決め、準備を進めた。六供区が地元の掛川さんにとって、小諸市街地は幼いころからの思い出が詰まった場所。シャッター

が閉まった店が増えたのが寂しく、出店するなら相生町に決めていた。「いい思いも嫌な思いも、人間関係を通して学んできました。人と関わることが好きなんです」。だから、人と人が繋がる

スペースを作りたいとデザイナー（アメリカで気取らないレストランを指す）の形式にした。

取材の最後に、「第一印象が怖いお兄さん」だったことを伝えらると、「スタートがマイナスなら、あとは良くなるしかないのだから、プロとして接客していればわかってもらえます」とかわす。とにかく前向き。野球部仕込みの体育会系の若者でした。

そんな掛川さんは、FMさくさくでいらで番組を持つDJでもある。CMの営業でかかってきた電話が盛り上がり、「DJやってみたら？」と持ち掛けられたというから、掛川さんの言葉通り

2周年には
イベントも開催



おかげさまで2周年！
4.29(祝)/30(土) 2日間限定開催

Lac Blanc
2周年記念
期間中にお来店された方に
オリジナル
トートバッグを
プレゼント!!



人との繋がりは面白い。実はDJも掛川さんの夢の一つだった。「口にしていれば夢は叶うもんですね」と笑う。この3月にはアパレルブランドも立ち上げた。今後も更なる夢の実現に向けて、様々なことを計画中だ。

(取材・文 村松マヤ)



営業は17:00～22:00、金・土・祝日はランチ(11:00～13:00)も営業。日・月曜は定休。
☎ 31-5573。最新情報はインスタグラムで。
店内には、自らデザインしたTシャツもある。

ゆらさんの四季の薬膳

再発見を！鯉の底力

鯉のぼりの季節がやってきました。古代中国では黄河の急流を鯉が上り龍になったという伝説があり、鯉は立身出世の象徴と考えられてきました。五月の節句の鯉のぼりに、元気で大きく育ってほしいとの親の願いが込められていたのです。

信州といえば鯉。佐久の鯉は知名度抜群とはいえ、若い世代ほど食卓に鯉が登場する機会は減っています。鯉のあら、鯉こくといっても作り方がわからない。中国料理の鯉を丸ごと揚げるなんて、ムリムリ。と諦める前に注目してほしいのは、鯉は「薬用魚」と呼ばれ、ビタミンB1の含有量は魚介中トップクラス。昔から母乳の出が悪いママたちに使われてきましたが、造血作用にも優れています。貧血や食欲不振、倦怠感に悩まされている人におススメです。

他にも感染予防、抗動脈硬化、抗アレルギー、肝臓の解毒機能効果も期待できます。これを機に自分なりの鯉料理を考案してみませんか。

(国際中医薬膳師 小清水由良)

